

球場に響く応援の声



両校接戦を繰り広げ

▲固唾を飲んで応援する生徒たち



速報新聞

キマグレ

発行所
彦根東高等学校

新聞部

彦根市金亀町4番7号

4
回

4回・5回は両校が互いに得点を許さず、前半戦は4-2と本校のリードで終了した。その後6回に波佐見高校に1点を返され、4-3となった。

中辻るうさん(3-6)は「テンションが上がってしようがない。応援頑張ります」と意気込んだ。野球部部長である藤野亮輔君(3-6)は「今は勝っているが、試合が終わるまでは気を引き締めてやってほしい」と注意を呼びかけた。福原真美さん(3-5)は「本塁打は本当にすごかった。応援もとても楽しい」と笑顔を見せた。野球部後援会副会長の吉田貞夫さんは「喜んでいいる。心はずでに8月14日に飛んでいる」と興奮した様子で話された。

5
回

吹奏楽部部長の明石珠実さん(2-8)は甲子園に来た感想を「県大会とは雰囲気が違う。観客が大勢いて熱気が伝わってくる」と、応援演奏については「練習の成果が発揮できている」と手応えを話した。そして前半をリードで

終えて「自分自身も応援していて気持ち良い。良い試合をしてきている野球部に感謝してもし切れない」と話し「部員一同精一杯演奏します。練習してきたことを活かして悲願の一勝を掴み取ってくださ」と野球部へメッセージを送った。野球部の永井結登君(2-5)は5回までの感想を「甲子園の舞台でも堂々と戦っているのがカッコいい」と話し「相手も強いので自分たちの野球をしてほしい」とエールを送った。応援団長の辻和彦君(3-6)は「ここまで勝っていて、相手を抑えられている。しかしホームラン1本では安心できない」と感想を述べた。

6
回

米田基樹君(3-7)は選手へのメッセージを「吉本君と辻山君に痺れました！目一杯頑張ってください」と述べた。田嶋優樹君(3-6)は6回までの感想を「3回裏に逆転したのがとても印象的だった。また6回に増居君がピンチを乗り切ったのがすごかった。このまま追加点を獲って勝利を掴み取ってほしい」と話した。